

2012～13年度

国際ロータリー第 2790 地区第 9 分区

# ロータリー情報研究会

テーマ

「職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おう」



主催：国際ロータリー第 2790 地区第 9 分区

ガバナー補佐 宮川 欽一

開催日：2012年10月18日(木) 点鐘 14:00

会場：ラディソンホテル成田

ホストクラブ：富里ロータリークラブ

2012～13 年度

第 9 分区ロータリー情報研究会

開催日：平成 24 年 10 月 18 日（木）

場 所：ラディソンホテル成田

プログラム

司会・進行：富里 RC 幹事 岡野 耕平

- |       |   |                 |
|-------|---|-----------------|
| 14:00 | 開会・点鐘<br>国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」                       | ガバナー補佐 宮川 欽一    |
| 14:10 | ガバナー補佐開催趣旨挨拶                                      | ガバナー補佐 宮川 欽一    |
| 14:15 | ホストクラブ会長挨拶  | 富里 RC 会長 佐々木 敬悦 |
| 14:20 | 地区クラブ研修委員挨拶<br>テーマ「職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おう」         | 地区職業奉仕委員長 海寶 勘一 |
| 14:30 | 休憩  |                 |
| 14:40 | ディスカッション（テーブルごとに討議）<br>テーマ「職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おう」 |                 |
| 15:40 | 各テーブル、約 3 分間で意見発表                                 |                 |
| 16:30 | 講評  | 地区職業奉仕委員長 海寶 勘一 |
| 16:40 | 閉会・点鐘   | ガバナー補佐 宮川 欽一    |

懇親会

司会進行 富里 RC 職業奉仕委員長  
市川 一夫

- |       |          |                    |
|-------|----------|--------------------|
| 17:00 | 開会・挨拶・乾杯 | 富里 RC 会長エレクト 寒郡 茂樹 |
|-------|----------|--------------------|

懇親

ロータリーソング「手に手つないで」

- |       |       |                     |
|-------|-------|---------------------|
| 18:30 | 閉会・挨拶 | 富里 RC R 情報委員長 藤田 一雄 |
|-------|-------|---------------------|

こんにちは。

本日は情報研究会にお忙しい中にも関わらず、多くの皆様に御出席頂きありがとうございます。今年のテーマは「職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おう」であります。

国際ロータリー及びロータリークラブそれぞれの定款のいずれも第4条に綱領が規定されております。※定款及び綱領はロータリーの憲法であります。

ここでは、「奉仕という基本理念の上に立って事業が行われるようにする」これを要約すればロータリーは事業人、職業人の集団であり職業奉仕についてはプロでなければならない。

よって「ロータリーの目的は職業奉仕の推進にある」ということに尽きるとあります。

職業奉仕を中心にして新たに加わった新世代奉仕を含む4部門の奉仕の輪が広がり、それを結んだ輪の上に関連した諸活動が円形に広がり回転しているのがロータリーの基本構造である。

ロータリーの目的が職業奉仕の推進にあるのですから、地区も分区も各クラブも職業奉仕の推進を目指すことが基本であることは当然であります。

田中 RI 会長より 3つの優先項目

1. クラブのサポートと強化。
2. 人道的奉仕の重点化と増強
3. 公共的イメージと認知度の向上に一層の力を注ぐようお願いしたい。  
と要望されました

1. 「クラブサポートと強化」は、地区内クラブが「ロータリーの綱領」の目指すところ。すなわち職業奉仕の推進に向かって、着実かつ堅実に歩んでゆく。クラブ会員が日々、職業奉仕に徹することによりクラブは強化されます。

2. 人道的奉仕重点化と増加

家族、地域、社会、民族、国家等々、新世代が未来を担っていることを再認識し、新たな奉仕活動を企画し実行できるようにする。

### 3.公共イメージと認知度の向上

ロータリーの公共イメージと認知度は地域社会の人々が接するロータリアン自身が形を作るのです。我々ロータリアン一人一人が広告塔です。

ロータリアンが職業奉仕の実践により職業人、実業人としての品格、高潔性、リーダーシップを備え高めることにより公共イメージと認知度を高めると思います。

公共機関や各団体へのロータリー広報誌の配布案などの実施、「これらを昔に」または、「かつてはやったことがある」などと言って、提案する人の口封じをすることはあってはなりません。「ロータリーの友」8月号1頁にRI 田中作次会長は語っております。

ロータリアンは謙虚で、自らが達成したことをひけらかしたりはしません。と。

また、同会長はロータリアン以外の人や地元メディアにクラブの活動を紹介し、会員候補者を勧誘して少なくともこの項目を実施することによって職業奉仕に力を注ぐとインターネット上に載っております。

さて、かつて、R 情報研究会は入会浅い会員の教育の場でしたが、同じ前年踏襲を繰り返すと弊害をもたらし、組織を疲弊させ、衰退させてしまいます。したがって近年は古参会員含め全体の話し合いの機会へと移っております。

本日、各グループで心ゆくまで語り合っただけ職業奉仕を通じ、ロータリーの未来を明るく活気ある組織にしたいものです。

平成 24 年 10 月 18 日  
第 9 分区 ガバナー補佐  
宮川 欽一

平成 24 年 10 月 18 日  
第 9 分区 富里ロータリークラブ  
会長 佐々木 敬悦

9 分区の皆さんこんにちは!!

本日は R 情報研究会に、たくさんの皆様方にお集まり頂きましてありがとうございます。感謝申し上げます。

また、本日 R 情報研究会が、ホストクラブであります富里クラブの例会場ラディソンホテル成田で行われることにつきまして誇りに思っております。ホストクラブとして行き届かないところが多々あると思いますが、ロータリーの友情に免じてお許しを頂きたいと思っております。

さて、今日のテーマは「職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おう」ですが、私の職業分類は新聞販売です。アルバイトで新聞配達を始めて 40 年近くになりますが、当時の新聞販売店は休みもなく、3K6K 職業と言われ慢性的に人手不足であり、労務を制するものは業界を制すると言われていました。しかし、私が今日、このようにロータリアンであり、今日あるのは、新聞販売という職業のお蔭だと思っております。私は新聞販売に誇りを持ち、心から感謝しております。私の話はどうしてもいいのですが、職業奉仕はロータリーの柱であり、ロータリーの繁栄は職業奉仕にあると私は思っております。

最後に今日の R 情報研究会が、本日ご参加の皆様にとって有意義なものとなるように、そして皆様の今後のますますのご活躍、ご健勝を心から祈念しまして挨拶いたします。

平成 24 年 10 月 18 日  
第 9 分区 R 情報研究会

## テーマ「職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おう」

国際ロータリー第 2790 地区  
2012-13 職業奉仕委員会  
委員長 海寶 勘一

今年度の職業奉仕委員会は、得居ガバナーの考えである、職業倫理の率先垂範することが、真のロータリアンの姿であるとの思いを、真摯に受け止めて、双方向意見交流ができる活動計画を立てました。

各クラブの職業奉仕委員長さん、各クラブロータリアンとの話し合い、語り合いを委員会一同が楽しみにしております。

クラブ委員長さんが、クラブ内でのリーダーの役目を果たして頂くための、お手伝いの情報交流を盛んにして、クラブ委員長さんと一緒になって励んでみたいものです。

得居ガバナーも、熟講されたテーマではありますが、職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おう、の標語のもとで開催される各分区ガバナー補佐に主催して頂く、ロータリー情報研究会の運営をさせていただきます。  
その価値を高めるためにも、9月7日2分区合同クラブ職業奉仕委員長セミナーを開催いたしました。

分区内の各クラブ委員長の皆さんが、心を一つにさせて、職業奉仕の真髓を語り合い、より善き人として、より善き職業人として、より善きロータリアンとして、奉仕の理想を説き、理解を深めあう場を構築したいと考えております。クラブ委員長さんが率先して、委員会活動ができ、クラブメンバーの職業奉仕の実践が、盛んになり、なによりも、ロータリーに誇りをもって、奉仕の理想を、鼓吹し育成できるようになってほしく思います。

もっと職業人としての尊い思いや、理念をもって、双方向意見交流を盛んにさせて、超我の奉仕を心にして、最もよく奉仕をするもの、最も多く報いられるロータリアンとして、職業奉仕に専念できるように、素晴らしい効果がでることを期待しています。